



科学者が見てきた知床の今と昔

— 知床世界自然遺産登録 20 周年を前に —

3 / <オンライン同時配信>
2023. 15 (水) 13:30-16:30



LIVE



◀視聴はこちら

<https://youtube.com/live/0-XT4BMLBY>

北海道立道民活動センター かでの2・7

大会議室(4階) 札幌市中央区北2条西7丁目道民活動センタービル

来場をご希望の方は事前申込みが必要です

<申込先> y_amagai@shiretoko.or.jp (知床財団 担当: 雨谷)

<締切> 2023年3月13日(月) 17時まで

知床が2005年に世界自然遺産として登録される前から、科学的な立場で知床を見守ってきた知床世界自然遺産地域科学委員会。シンポジウムでは、科学委員会が2012～2021年度までの10年間で得られたデータをもとに実施した知床世界自然遺産の健康診断となる総合評価の結果について報告するほか、知床世界自然遺産に関する最新の研究成果や先進的な取り組みを紹介します。

また、パネルディスカッションでは、科学者の立場からこれまでの成果や課題を振り返り、世界自然遺産としての知床の将来像や今後の展望、科学者が果たすべき役割などについて議論します。

プログラム

1 データで見る知床の今と昔

13:30～15:10

報告1 環境省

データで見る知床の世界自然遺産としての価値の現状

報告2 計4講演

知床における最新の研究成果、先進的な取り組み

- ① 環境DNAを活用した水圏生態系の新たなモニタリングの可能性とは?
荒木 仁志 (北海道大学大学院農学研究院)
- ② 知床周辺の海氷は減っていくのか?
海洋生態系への影響とは?
山村 織生 (北海道大学大学院水産科学研究院)
- ③ 知床半島のヒグマの生息数は?
人里への大量出没の原因とは?
下鶴 倫人 (北海道大学大学院獣医学研究院)
- ④ 世界自然遺産の適正な観光利用のための地域関係者のかかわり
敷田 麻実 (北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科)

2 パネルディスカッション 科学者が見てきた知床の今と昔 — 知床世界自然遺産登録20周年を前に — 15:20～16:30

コーディネーター:

中村 太士 (科学委員会委員長、河川工作物AP座長)

パネリスト:

石川 幸男 (エゾシカWG座長)

佐藤 喜和 (ヒグマWG座長)

敷田 麻実 (適正利用・エコツーリズムWG座長)

山村 織生 (海域WG座長)

※「WG」とは科学委員会のもとに設置されたワーキンググループ、
「AP」とは同じくアドバイザー会議のこと。

<主 催> 知床世界自然遺産地域科学委員会
<事務局> 環境省釧路自然環境事務所、林野庁北海道森林管理局、北海道
<注意事項>
※会場ではマスク着用にご協力ください。
※新型コロナウイルス感染拡大状況等に応じて、オンライン配信のみに変更する場合があります。